

○分科会及び講座について (分科会場は、当日受付でご案内します。)

分科会名	内 容 (予 定)	運営担当
構音講座	○発音不明瞭を主訴に来談する子どもは多く、その背景には言語発達の遅れを伴っている場合が少なくない。小児の構音障害の本質は何か、発達の視点から考えてみたいと思います。また、短期間で訓練を終了するためのミニマムエッセンスについてお話しします。 講師：岡 美代子 先生 (児童発達支援ポニー、元 角谷リハビリテーション病院 言語聴覚士)	和歌山
吃音	○吃音があるのは一人ではないという思いを確かにもち、レジリエンスを培うことを目標に、吃音のある子ども同士やロールモデルとしての吃音のある若者達との交流に取り組んできました。その活動を通しての子ども達の変容や成長、保護者の思いを報告します。 報告者：京都市立小学校ことばときこえの教室担当4名 滋野井悦子(桂東小) 脇田幸子(朱雀第七小)・小泉祐美子(常磐野小)・山田景子(小野小) コーディネーター：脇 豊明 先生(京都言語障害研究会)	京都
聴覚障がい	○【ショートレクチャー】「きこえにくい子どもたちへの情報保障」 足立 貢(大阪市立北中道小学校 難聴学級) ○【レポート】「難聴学級における情報保障の取り組み」 中西 梓(大阪市立扇町小学校 難聴学級) きこえにくい子どもたちが、学校生活を過ごす際に情報がうまく伝わらず不利になるのは、どのような状況か考え、それを改善するために、どのような工夫をすればよいのか、難聴学級での取り組みを通して検討します。	大阪
言語発達	○当園には、言葉の発達だけではなく、養育環境など多様な問題を抱えた幼児が多数います。言葉の発達を促すために、通級教室が行った自園支援(じゃれつき遊び、集合指導、就学準備教室など)と、子どもの興味関心を生かした園全体の取組により、得られた数々の成果について具体的に発表します。 コーディネーター：鳥居 深雪 先生(神戸大学大学院 教授) 報告者：樋口 智美(神戸市立西野幼稚園 きこえとことばの教室)	兵庫
発達障がい A	○LD児の指導や合理的配慮について、在籍校と通級指導教室との3年間の連携や取り組みを教材などの具体例を交えて報告します。 報告者：丸田 浩美 村上 律子(上牧町立上牧第二小学校 通級指導教室) ○「通級指導教室における個々の特性に応じた指導の工夫」通常学級で積極的に授業に参加することを目標として 報告者・コーディネーター：大庭 譲治 先生(天理市立丹波市小学校通級指導教室)	奈良
発達障がい B	○「高島市ひらがな読み書きチェック」の実施と、読み書きの力をつけるために通級指導教室担当者がどのような取り組みをしたかを紹介します。 報告者：小川康子(今津東小学校)、前川優子(安曇小学校)、水谷育子(新旭南小学校) ○課題に向かいにくい児童への指導について、漢字指導を中心に通級担当者と担任が連携して取り組んだ事例を報告します。 報告者：上林 延子(彦根市立平田小学校 通級指導教室) コーディネーター：久郷 悟 先生(滋賀県総合教育センター)	滋賀

- ◇ 参加費 2,500円(和歌山県言語発達教育研究会会員は2,000円)
(指定の銀行にお振込みください) ※詳しくは、次ページをご覧ください。
- ◇ 定員 220名
- ◇ 申込み締め切り 平成30年7月11日(水)
(手話通訳が必要な方は、準備の都合上、6月29日(金)までにお申し込みください。)
- ◇ 申込み方法 参加費振込み後、参加申込書に記入し、和歌山県新宮市立王子ヶ浜小学校ことばの教室までFAXで送ってください。FAX:0735-22-8432
- ◇ 昼食について 弁当の斡旋はいたしません。各自でご準備ください。
会場周辺にも食事をするところがあります。当日、昼食マップを受付で用意します。

大会事務局(問い合わせ先)

和歌山県立吹上小学校ことばの教室 松窪洋子

〒640-8137 和歌山県吹上4-1-15 Tel:073-424-8181(代表) 073-426-3950(ことばの教室 直通)

FAX:073-424-8182 メールアドレス matsukubo.yoko@wakayama-wky.ed.jp